



一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会
事務局 東京都文京区関口1-45-15-104
☎ 03-5227-3716 Fax 03-3260-4906
URL <https://www.healthcare.gr.jp>
E-mail : center@healthcare.gr.jp
編集代表 林 浩司
編集制作 有限会社 秋 編集事務所

	年会費	入会金
歯科医師	12,000円	5,000円
スタッフ/その他	3,000円	3,000円
郵便振替口座	00190-7-407895	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	
銀行振込口座	三菱UFJ銀行 江戸川橋支店 普 0051809	
名義	一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会	



CONTENTS

巻頭 新型コロナウイルスのパンデミックから2年間 ... p.1	永年会員表彰/訃報 p.13
カリエスマネジメントセミナー案内 p.2	コア・オビニオンメンバーってどんなメンバーなの? .p.14
セミナー紹介 院長に代わって経験豊富な歯科衛生士に聞く/ ペリオセミナー p.3	復活!! The HyG Times p.16
記録と診療 p.4	ウェビナー開催報告 p.18
ウィステリアを使ってみませんか p.6	ウェビナー告知板 p.20
「DataFile」機能の使い方 p.7	実践フォーラム 矯正(不正咬合)について p.21
リレー連載 CRASPあれこれ p.9	Healthcare bibliography p.22
デンタル撮影マニアック p.10	ヘルスケアフォーラム p.23
事務局から/認証ミーティング案内 p.11	セミナー紹介 ヘルスケア歯科衛生士新人初期研修/ 認定歯科衛生士更新ポイントについて p.27
フォーラム【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】5 p.12	ヘルスケアミーティング2022案内 p.28

催しものご案内

- | | |
|--|---|
| ① ヘルスケア Web セミナー
日時: 2022年4月12日(火)
内容: 院長に代わって、経験豊富な歯科衛生士に聞く | ④ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2022年5月22日(日)
内容: その痛み、本当に歯/顎関節が原因ですか? |
| ② ヘルスケア Web セミナー
日時: 2022年4月27日(日)
内容: ペリオセミナー(1/3) | ⑤ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2022年5月25日(水)
内容: ペリオセミナー(1/3) |
| ③ 新オンラインサロン
日時: 2022年5月10日(火) | ⑥ ヘルスケア Web セミナー
日時: 2022年6月22日(水)
内容: ペリオセミナー(3/3) |

重要なご案内

- 以下の同封物をご確認ください
- 2022年度ステッカー
2022年度会費納入済みの方に同封しています。
 - 2022年度会費振込用紙
2022年度会費未納の方に同封しています。お早めにお振り込みください(行き違いになりましたらご容赦ください)。
 - カリエスマネジメントセミナー案内



新型コロナウイルスのパンデミックから2年間

杉山精一 (日本ヘルスケア歯科学会代表)

昨年のヘルスケアミーティング後は、新型コロナウイルス感染者数も減少して、このまま落ち着くのかという期待もありましたが、新年になるとオミクロン株による感染が急増し、1日あたり全国で5万人を超えると報告されています(1月24日現在)。オミクロン株の感染力は強いですが無症状や軽症の方が多く、もしかしたら多くの人に感染し、社会的免疫を獲得して終息に向かうのではないかと期待もされていますが、現時点では予断を許さない状況だと思います。世界的なパンデミックになってすでに2年あまり経ちましたが、皆さんの診療所はどのように対応して診療をされていますか。

私の医院のメンテナンス患者さんの来院者数をグラフにしてみました。コロナが始まった2020年は、4月の緊急事態宣言から6月までは、メンテナン

ス治療を中止しましたので、来院者数も減少しました。この期間、スタッフの仕事に余裕ができたので、感染予防策の見直しを行いました。特に、歯科の治療はほぼすべてが唾液に触れる治療です。以前はこの唾液に対する対策が十分でなかったため、この機会に、徹底的に見直しをしました。ヘルスケア歯科診療に必須の口腔内規格写真撮影、X線撮影、さらに治療の際に触れる部分、印象操作など、幅広く、できるだけコストをかけないように市販のものを活用する方針で行いました。7月のメンテナンス再開までに対策を終えて、その後の新たな変異株による感染の波がおきても、来院者は減少しませんでした。定期的きちんとメンテナンスに来院される方は、健康意識が高い方が多いです。「ちょっと行くのが心配でしたが、きちんとされていて安心しました」、唾液中にウイルスが存在していることを知った

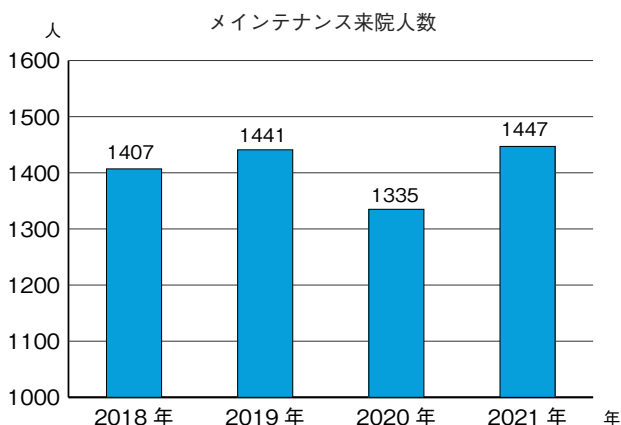
方も多く「歯科は大変ですね、でもこれなら安心です」などの声もいただくことができました。医院としても安心安全な医療の提供が、患者さんとの信頼関係を高めることを実感することになりました。

学会の活動は、2020年の夏頃からZoomを活用したwebによるセミナーの開催が中心になりました。Webセミナーをサポートするweb委員会も立ち上がり、回を重ねながら、順調に開催できるようになりました。私も、カリエスマネジメントセミナーを2020年、2021年と7回シリーズで行いました。開催時間が夜のため、振り返り配信を活用して院内ミーティングやスタッフが自宅で視聴したということを多数聞きました。従来だ

と、休みの日に都会まで出向いて1日セミナーに参加するというのが一般的でしたが、Zoomと動画配信だと、地方にいても、時間外研修が困難な家庭の主婦でも、参加の機会が増えたようです。その結果、レベルアップを図ることができた診療所もあるようで大変嬉しいです。

2022年は、主にコアメンバーが中心の企画委員会で新たなwebセミナーの開催を予定しています。昨年からのカリエスマネジメントセミナーはいつでも学べるeラーニング方式へ(4月頃スタート予定)、新たにヘルスケア歯科診療に必要なペリオセミナー(3回シリーズで4月スタート予定)、認証取得を目指す医院向けセミナー、歯科衛生士によるセミナーなど盛りだくさんです。開催については、ニュースレター、メールマガジン、LINE、ホームページなどをチェックしてください。そして、自分に必要な、医院に必要なセミナーを見つけて参加して医院のレベルアップに活用してください。

ヘルスケアミーティング2022は、東京・田町の建築会館ホールのリアル参加とオンライン(Zoom)のハイブリッド方式で、10月9、10日の2日間開催の予定で準備を進めています。メインテーマは、高齢者です。パンデミックが終息していれば、交流会や懇親会も開催したいと考えています。詳細は今後のニュースレター等でお知らせします。



いつでも・どこでも！ 一人でも・グループでも！

カリエスマネジメントセミナー2022 全7回

講師：杉山精一（日本ヘルスケア歯科学会 代表・CRASP 開発者）

2020年から毎年開催しておりました杉山精一さんによる「カリエスマネジメントセミナー全7回」がオンデマンド配信（レンタル）でいつでも受講できるようになります。

配信内容（4月18日より隔週で1本ずつ配信されます）

- 第1回 カリエスマネジメントの基本 ICDAS と XR をマスターしよう
- 第2回 新しいカリエスリスクアセスメント「CRASP」をマスターしよう
- 第3回 カリエスマネジメントとは？ 目指すところは？
- 第4回 臨床に必要なフッ化物の知識
- 第5回 咬合面に対するカリエスマネジメント
- 第6回 隣接面に対するカリエスマネジメント Icon も解説
- 第7回 前歯・MIH・根面う蝕

※各エピソードは30～40分程度です。

受講後 Google フォームにて、杉山さんに質問できます（返信は2～3日後になります）。

対象：会員・非会員問わずカリエスマネジメントを学びたい方

受講料：シリーズレンタル（全7回）1年間レンタル 10,000円
エピソードレンタル（1回）30日レンタル 2,000円



パソコン・タブレット、スマートフォンに対応

【Vimeo】とは…

日本ヘルスケア歯科学会のオンデマンド受講では、Vimeo（ヴィメオ）という動画配信サービスを使用しております。受講される方は、お手数ですが『Vimeoの無料ユーザー登録』をお願いいたします。

レンタル時のみ、料金が発生します。お支払いはペイパル・クレジットカードをご利用ください。

※詳細はこのニュースレターに同封のパンフレットをご参照ください

セミナー
紹介

院長に代わって 経験豊富な歯科衛生士・奥山洋実に聞く 『先生、お話があるんですが…』 ドキッ！



2022年4月12日(火) 20:30～21:50 (80分) Zoom ウェビナー

参加費：3,000円(要Zoom登録) ※参加者の顔出し不要 アーカイブ配信1ヵ月有り

対象：会員限定。歯科診療所運営責任者またはその予定者の歯科医師(例外的に歯科衛生士の視聴可)

目的：1. よりよいチームづくりを志向する診療所責任者に雇用される歯科衛生士の視点を提供する
2. 信頼される診療所責任者となるために、自分では気づかない問題点に気づいていただく

パネリスト：奥山洋実 メインホスト：秋元秀俊

内容プログラム：

秋元が、院長(診療所責任者)に代わって、歯科衛生士・奥山洋実さんに尋ねます。

奥山さんの歯科衛生士としてのキャリアは、決して平坦なものではありません。大半の歯科衛生士がそうであるように、もちろん望んで歯科衛生士になったわけではありませんが、最初に勤めたドクターは、熱心に精度の高い補綴処置を追求する人で、きっちり基本治療の成果をあげてことを求められました。当時始まったビューフレディ社のシェリー・バーズSRPセミナーは、雑誌に広告を見つける度に繰り返し受講したそうです。受付番号はいつも1番。ある程度結果が出せるようになって欲が出てきて、歯周治療を任せられる医院、事情あって矯正歯科、その次は大阪の歯科医院、山形・酒田の医院では規格性のある診査資料を採ることを学び、さらにヘルスケア診療を始めたばかりの田中歯科クリニックを経て、当時のヘルスケアの本丸の酒田H歯科へ。波乱万丈、多様な職場で多様な院長、たくさんの後輩の面倒を見てきた奥山さんだからこそ気づくこと。

良薬は口に苦し、飲んでみませんか？

- ・どう教育したらいいか/どうやる気をもってもらうか/あまりにも常識がない/接遇能力が低い/対話を心掛けているが、もうひとつギクシャクする/待遇だ、環境だ、設備だというのが、自分の能力知っているのか/SRPには熱心だが、患者さんとの関係がいまひとつ
- ・うまくいってるつもりだけど、気づいていないところあるかな/よくある思い込み、よくある勘違い、よくある無理解/雇用者の常識(就業規則、待遇、保証など)
- ・自分から学ぼうとしない、教育機会を与えても迷惑がる/逐一指示をしないと動いてくれない/どう、教育すれば、応えてくれるのかわからない/外部から講師を招聘しても迷惑そうにする者がいる/人材育成の時間を定期的に設けているが、成果が上がらない
- ・スタッフ間の問題が一番頭痛い/評価制度の仕組みを取り入れているが、かえってうまくいかない/辞められると困るので遠慮しているが、それがいけない?/とにかく辞められると困るので、すべて我慢…

セミナー
紹介

ペリオセミナー (全3回) チーム医療の最初の一步としての歯周基本治療

2022年4月27日(水)、5月25日(水)、6月22日(水) 20:00～21:00 Zoom ウェビナー

ヘルスケア診療を進めるうえで、最初の目標は「初期・中等度の歯周炎を治癒に導き、定期管理する体制を整える」です。そこで、まずは歯周炎の病因論の理解と治療の流れ、医院の体制作りについて学びましょう。

- 1日目 4月27日(水) 理解しておくべき病因論と疾病背景
- 2日目 5月25日(水) チームで行う歯周基本治療
- 3日目 6月22日(水) 治療から定期管理までの体制づくり

時間：各回とも20:00～21:00(1回60分) 対象：会員&一般

参加費：3,000円/1回(要Zoom登録)※動画アーカイブ配信は会員のみ視聴可

パネリスト：千草隆治(コメンター)



学びました。

これらのことから、カリエスリスク検査は、1回の結果だけでは得られるものが少なく、時間軸で経過を追わないと意味がないと思えました。

ただし、SM=3の患者の経過を追うと、定期健診を中断したグループでは、よりう蝕の発症が多かった結果にもなりました。図7が当院の記録から当時考えていた結論です。

その後、変化するリスクの経過を定期的に追うために、図8,9,10のように2009年頃には細菌検査をCAT21に変更し

たり、コンピュータの記録方式をわかりやすく改善したり工夫しました。

このように、自院のデータを記録するだけで満足せず定期的に振り返って検証すれば、それまで漫然と行っていたことが、うまくいっているのかいかないのかが、わかってきます。問題点を見つけて常に更新する努力こそがヘルスケア歯科診療です。

今回は、“カリエスリスクアセスメントだけではう蝕を防ぐことができない” ことについて書く予定です。

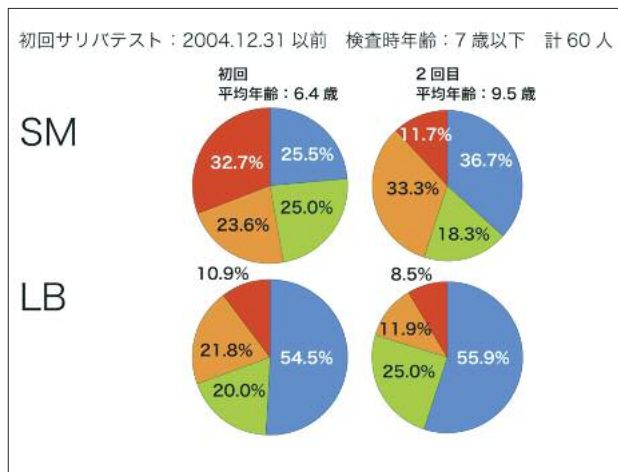


図6 リスクは介入によって変化する

1980 1990 2000 2010 2020

当時わかったこと

- ・SM=3でも（12歳までだったか）カリエスフリーは可能だし、SM=0でもう蝕ができるケースもある
→診療室では、リスクを抑え込もうとするので、**サリバテストではう蝕発症の予測はできない**
- ・SMは環境を整えてやれば、永久歯への交換期に減少させることができそうだ
- ・SMハイリスクの場合は、健診が中断するとう蝕になりやすい
- ・LBは口腔内全体のリスクのモニタリングに使える

図7 わかったこと

第3回 ハーフ&ハーフセミナー

カリオロジーの基礎と
その応用について

神戸市開業
大西歯科 藤木 省三

2009.12.20

図8



図9

検査日	年齢	リスク要因										虫歯の経験	残存歯
		むし歯菌	唾液量	緩衝能	飲食回数	生活背景	プラーク	歯磨き習慣	家庭	診療所	フッ素		
1995.6.14	67歳	2	.3	4.7	4	3	×	×	×	×	×	28	26
1996.9.25	68歳	2	.8	5.2	4	1	○	○	○	○	○	28	26
2003.6.13	75歳	3	.7	6	4	1	○	○	○	○	○	28	26
2006.10.24	78歳	.6	.4	0	1	0	○	○	○	○	○	28	25
2009.3.10	81歳	.5	.4	0	1	0	○	○	○	○	○	28	24

図10



ウィステリアを使ってみませんか —臨床記録を振り返るシステム構築について

ルーティンに資料採得！ でもそのままになっていませんか？
日々の患者データの整理をどうしていますか？



林 浩司（真岡市開業）

連載 1 回目 「認証診療所を取得し、患者データを記録する大切さを知る」

はじめに

当院は 2004 年に開業し早 18 年が経過としております。開業してまもなく長期にわたり患者と関わり続けることをどうしたらいいのか、勉強できる機会があればと思い日本ヘルスケア歯科研究会（当時）に入会し、現在まで皆様と一緒に学ばせてもらっています。

入会して数年が経ち、当院のメンテナンス患者が安定してきてなんとなく結果が良くなっているような気がしてきました。なんとなく… では結果がわからないので認証診療所を目指し、2011 年に「認証」を取得しましたが、その機会に当院の臨床を振り返り、多くの課題が見つかりました。認証ミーティングの発表を経験して過去に来院された患者のメイ

ンテナンス率や DMFT の変化を示すことの難しさ、また症例報告（う蝕と歯周病）では患者データの不備が多く見つかり、症例の選択に苦労しました。日々来院される患者の規格性のある記録の採得とその検証をいかに行うかという大事なことを学びました。

すなわち認証診療所を取得したことはゴールではなく、過去を振り返り新たな学びを発見し、様々な改善をおこなうスタートになったのです。

患者データを記録していくということ

ヘルスケア歯科診療の特徴の一つとして、「日々の臨床の中で患者データを記録する」ということがあります。患者データとは氏名、生年月日や性別、住所と

いった基本情報から口腔内写真、デンタルエックス線写真、歯周病チャート、サブカルテ、CRASP などの記録を日々の臨床の中で採得したものだと考えています。そのような患者データは記録用紙（アナログ）ですか？ パソコン（デジタルデータ）で残すべきでしょうか？

ある患者が長期にわたり定期的に来院されたらどうなるのでしょうか？ 毎回の来院ごとに各々の患者データは蓄積され、そうした患者が増えていけば、患者データが日々蓄積することは想像に難くないでしょう。そうしたデータはアナログ的に紙のカルテや何らかの目的を持ったノートに記録していけば、記録はされますが、将来検索するには大変困難です。そこでデジタルデータを活用していく必

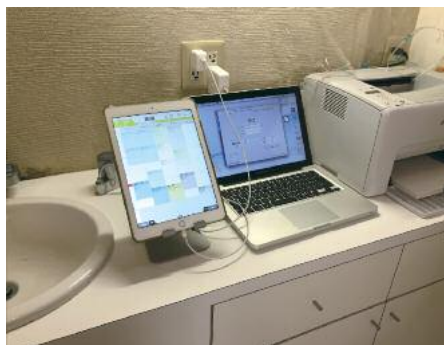


図 1 デンタル X（プラネット）院内 LAN による親機 iMac と子機 Mac book2 台、その他 7 台の iPad があり、受付や各ユニット、医局等どこでも入力や確認ができるシステムを構築している。



図 2 レセコン（ノーザ Wise Staff 9Plus）親機と子機の 2 台。受付（子機）で患者原簿の作成、会計などを行い、ドクターが保険診療の入力（親機）を行う。コロナ禍の中で導入したセルフレジが大変重宝している。

要があります。

先ほど書いた『なんとなく結果が良くなっているような気がしてきました』はデータに裏打ちされた結果でなければ説得力がありません。それでは実際に皆様の診療所で、どのようにデジタルデータを整理されていますか？



図3 i-Dixel (モリタ) はデンタルエックス線写真, CBCT データが入力されている。親機と子機による LAN 接続。(各ユニット4台)



図4 以前は CRASP 用紙のデータを iPad に入力していた。



図5 ウィステリア Pro ver.6.0 に CRASP データ等を入力。手の空いている歯科助手が担当。

当院の患者データの蓄積はいくつかのデータベースソフトを使っていますので少々複雑です。まず、口腔内写真, 歯周病チャート, アポイント管理 (Dental Hub), ほかりスク統計の入力等は開業当初からデンタル X (プラネット社) を導入し, 主なデータベースソフトとして使

用してきました (図1)。

また, 患者の基本情報 (患者原簿) と保険診療カルテはレセコン (ノーザ Wise Staff 9Plus, 図2) で管理しています。

デンタルエックス線写真, CBCT データは i-Dixel (モリタ, 図3) にそれぞれデータを入力しています。

サブカルテは手書きで記入しカルテに保管されており, 当院では残念ながらまだデジタル化されていません。CRASP を始めた当初は用紙をプリントして使用し, カルテに保管していました。しかしその後 iPad でデジタル入力できるようになり CRASP 用紙で問診を取り iPad に入力していました (図4)。

昨年リリースされたウィステリア Pro ver.6.0 では CRASP データを入力できるようになり, 現在ではそちらにデータを移行し入力しています。(iPad よりウィステリアの方が検索に優れているので, 図5)

次号では, 様々なデータベースソフトがある中でウィステリアを使う意義, 特にデンタル X との併用と当院における具体的なウィステリア活用法を紹介したいと思います。



「DataFile」機能の使い方



森 一弘 (学会認定ウィステリアサポート技術者 アクセス代表)

ウィステリアの最新版である Ver6.0 から「DataFile」という機能が追加されました。これは簡単にいうと, 患者さんごとに各種ファイルを整理して保存・閲覧する機能です。

この「DataFile」機能の使い方を解説します。

ウィステリアの患者検索画面で, 必要な患者さんを検索し, 絞り込まれた患者名の右端の「DataFile」ボタンをクリックします (図1)。

すると前もって準備された「DataFile」共有フォルダの中に, 「カルテ No」と「患者名」を「ハイフン」で繋いだ名前

のフォルダが作成され, そのウィンドウが開きます (図2)。

この中にその患者さん用のいろいろなファイルをドラッグアンドドロップして保存します。必要なファイルを開きたいときも同じ手順で患者検索し「DataFile」ボタンをクリックすれば, ワンタッチで患者名フォルダが開くので, ファイルへのアクセスが簡単です (図3)。

この機能で, 「DataFile」共有フォルダの中には, 自動で作成された患者名のフォルダが並んでいきます (図4)。

「DataFile」ボタン (図5) は, 検索画面だけでなく, 基本画面, う蝕画面, 歯

周病画面にも配置してあり、それぞれ同じように動作します。

この機能で管理できる電子データの例として、ワード、エクセル、パワーポイント、PDFなどのよく使う一般的なデータ、写真データ、顕微鏡で録画した動画データ、デジタルスキャナの3Dデータなどなど、診療で出てくる電子データはほぼ何でも、患者さんごとに整理して管理ができます。

ウイステリアの検索機能で、簡単に患者名フォルダにアクセスできる機能ではあるのですが、「DataFile」フォルダはあくまで一般的な共有フォルダなので、ウイステリアが入っていないパソコンから

患者名フォルダを開くこともできます。

サブカルテをペーパーレスにしたいという話を、最近よく耳にするのですが、サブカルテ作成用のソフトで作った資料を、「DataFile」機能で整理して保存するという使い方もできます（この時のサブカルテ作成用ソフトは何がいいのか、その点も大きなポイントではありますが、そこはまた別の機会に）。

そのほかにも、今ある紙媒体をスキャナで電子化して整理したり、ペーパーレス化の実現に有効な手段になる可能性は十分だと思います。

最後に、この「DataFile」共有フォルダの管理には、NAS（ネットワークハー

ドディスク）を使っていただくことをお勧めします。その理由は、データを安全に保管する機能がNASの方がパソコンより充実していること、容量不足になったとき、動作を止めずに容量アップが可能なこと、などがあげられます。また、ウイステリアで使う共有フォルダは、サーバー機とは、物理的に別にしていただけの方がトラブル時の対応がスムーズです。

この先、ウイステリアのバージョンアップや新規導入をご検討中の方、この「DataFile」機能もクリニック運営の強力な武器になり得ます。ぜひ導入活用を！



図1 検索結果一覧 右端

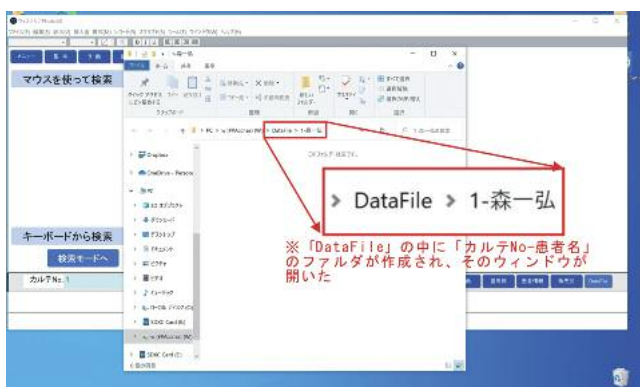


図2 「カルテ No.-名前」のフォルダが開く

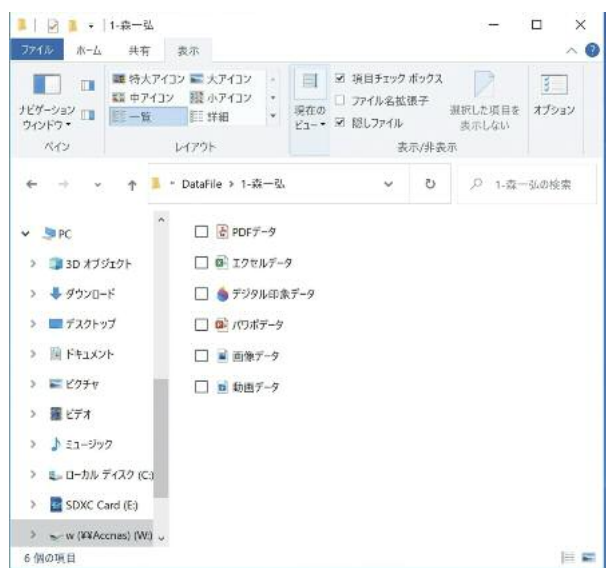


図3 ファイルへのアクセスが簡単に

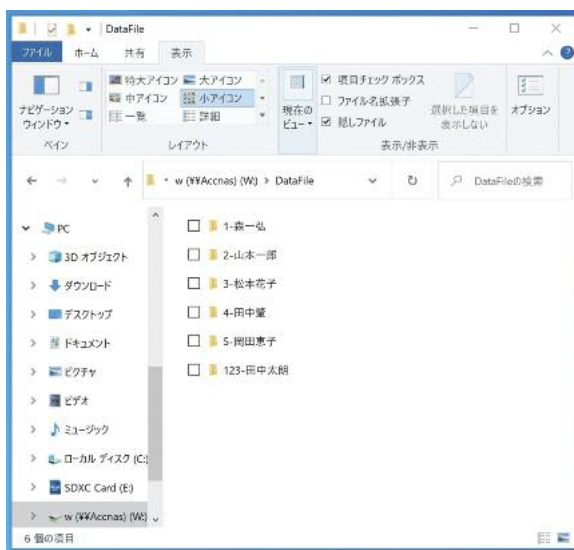


図4 「DataFile」フォルダ内に作成されたフォルダが保存される



図5 「DataFile」ボタンは基本画面、う蝕画面、歯周病画面のボタン群にある。

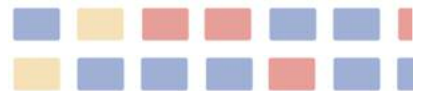
☆ アクセス

〒 842-0033 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町豆田 2103-13
 TEL.0952-51-1776 ・ FAX.0952-51-1767
 携帯 090-1920-7894
 URL <https://www.access-dental.jp/>
 URL <http://www.access-pcdoc.jp>
 E-mail kazu@access-pcdoc.com



リレー投稿

CRASP あれこれ



CRASP 普及委員会発信の新企画が始まります。

CRASP にまつわる四方山話を綴った「CRASP あれこれ」をリレー投稿形式で掲載いたします。皆さんの診療所で活用している CRASP にまつわるエピソード、症例や変化、導入体験談等々を内容として盛り込んでいく予定です。投稿の最後に次の投稿者を指名いたします。委員会メンバー以外にも振りますので、会員の皆さんと盛り上げていけたらと思っています。第 1 回は私から始めさせていただきます。

澤幡佳孝（熊本市開業・CRASP 普及委員会メンバー）



No.1 「私、炭酸の量が減ったんです」

40 歳女性 看護助手 Y さんのエピソードです。

Y さんは 2017 年よりメンテナンスのために来院されました。

初診時歯肉炎があり、PCR が 52.8 % と高値だったため、歯磨き指導を中心に行っていました。う蝕由来の大臼歯抜歯が 1 歯、抜髄歯が大臼歯に 2 歯あり、カリエスリスクが高いと思われる方でしたが、年齢と口腔内の所見から歯周病に対する指導が中心でした。間食指導まではできていない状況でした。

メンテナンス 3 年目の 2019 年 12 月に CRASP 1 回目を実施。就寝前に炭酸コーラとチョコレート、おせんべいを食べる習慣があることがわかりました。食べた後に歯磨きはすることでしたが、隣接面う蝕として XR2 が認められる部位があ

るため、この習慣をやめてもらうようにお伝えしました。CRASP 実施前までもメンテナンスに来院していましたが、ここまでの確な間食の指導ができたのは初めてのことでした。

次の 3 ヶ月後のメンテナンス来院時には夜のコーラの回数が減ったと嬉しい報告がありました。「でもコーラが好きなのでなかなかやめられないんです。」と本音を語っていただきました。翌年の 2021 年 10 月に CRASP 2 回目を実施しました。やっぱり大好きなコーラはやめられない。今は週 2 回くらい飲むが、小さな缶に変更したとのことでした。

「私、炭酸の量が減ったんです」と笑顔で語ってくれたのが、とても印象的でした。（当院スタッフ談）



次回の投稿は CRASP 普及委員会委員長の中本知之さん（医療法人 C&P 西すずらん台歯科クリニック）にバトンを渡したいと思います。



デンタル撮影マニアック

その1 初診時



滝沢江太郎（青森市開業）

こんにちは。2015年の認証エントリーを直前で取り下げてから早くも6年半が過ぎてしまいました。その節は関係各位にご心配と大変なご迷惑をおかけしてしまいました。この期間支え続けていただいたヘルスケア歯科学会の仲間のおかげで、なんとかマイペースで続けております。今回、その仲間の後押しがあったのと自分がこの会に貢献できることはここしかないと思い、日々のデンタルX線写真撮影についての工夫を連載させていただくことになりましたので、しばしお付き合いのほどお願いいたします。

簡単にご説明しますと、開業3年目の2011年に藤木省三先生に症例のことで相談し、その回答として提示していただいたスライドが今まで見たこともないようなきれいなデンタルX線写真ばかりで、どのようにすればこのようなデンタルを撮影できるのか、という膨大なやりとりが始まりました。図1に当院のデンタルX線写真の変遷をまとめてみました。

2008年は初めてのデジタル機器（しかもCCDタイプ…）に悪戦苦闘し10枚法はおろか、デンタルX線写真の体をなしていません。特に臼歯部において隣接面う蝕の有無や歯槽骨頂の状態、歯石の付き具合が判然とせず適切な診断のためにはまるで役に立ちません。2010年になるとようやく10枚法がルーティンになったのですが、目標には程遠い状態です。このようないきさつがあり、2011年に意を決してIP機器を導入すると1年ほどで平行法のコツをつかみ始めて、2012年の末ごろでようやくスタートラインに立ったと思っています。ここまでくれば、あとは時間の経過とともに資料がどんどん蓄積していきますので、歯科医師の仕事でも歯科衛生士の仕事でも治療の結果を振り返ることができます。このように私自身はゼロからのスタートで身についたものですので、自分のものだけに留めず、この会の共有財産として伝達・継承していければという思いがあります。ご興味のある方は気軽にメール(takisawa.kohtarō@me.com)をしてください。

さて、第1回目は基本的なことですが、初診時にどのように撮影するかを考えてみたいと思います。2回目以降はこれらの症例から掘り下げてみたいと思いま



図1 デンタルX線写真の変遷

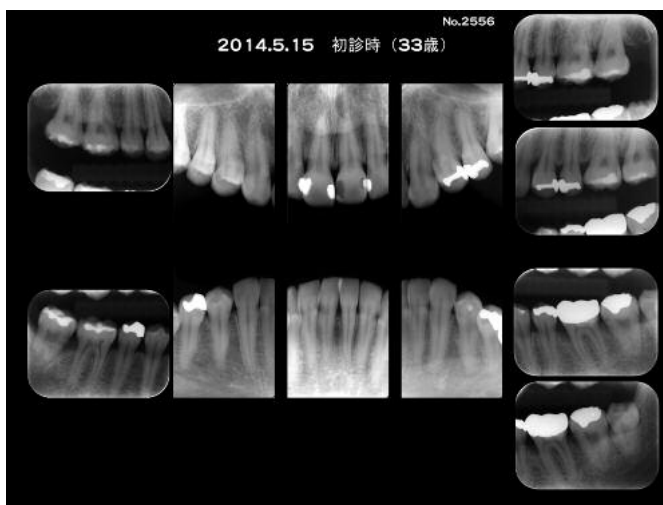


図2 臼歯部を追加

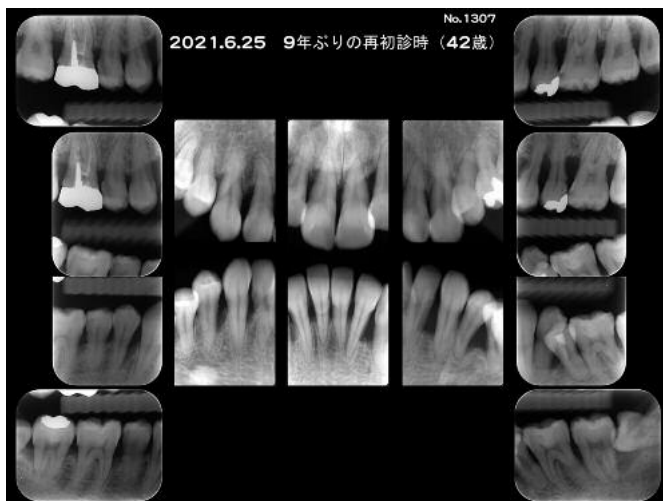


図3 エメニクス 縦で追加

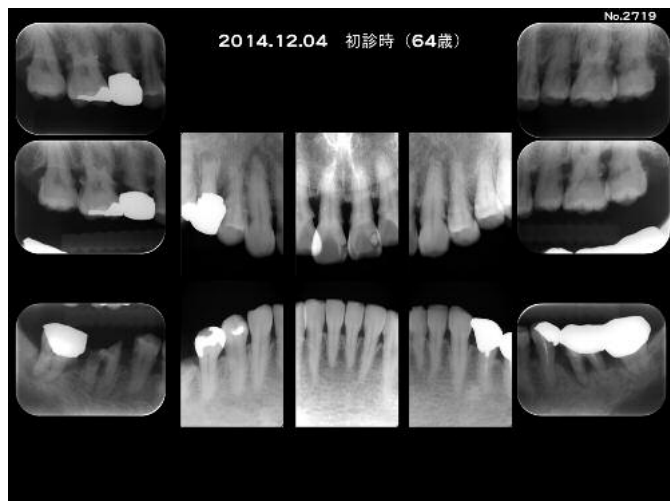


図4 二等分法を追加



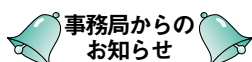
図5 バイトウイングを追加

す。まず当院では成人の場合臼歯部が平行法になることを目標に、10～14枚法で撮影していますが、11枚目以降は、

- ・8番が存在する場合や7番遠心の歯槽骨頂を観るために臼歯部を追加(図2)
- ・主に4番近心を平行法で観たい場合に小白歯部をエメックスで縦で追加(図3)
- ・平行法では物理的に入りきらず、かつ治療上必要な場合に二等分法を追加(図4)
- ・天然歯の切削にどうしても不安がある場合の確認としてバイトウイングを追加(図5)

などのバリエーションがあります。もちろん、智歯の検討をするときにはパノラマを追加することもあります。いずれにしても、初診時で大事なのは2点だと考えております。

- ・今回の治療の診断をするために必要な部分は貪欲に収集するべきである、
 - ・今後の経過観察という意味では起点になる重要な資料である。
- という点です。



学会誌(第22巻第1号)を発送しました

2022年1月6日に『日本ヘルスケア歯科学会誌(第22巻1号)』を発送しました。
届いていない方は、事務局までご連絡ください。

訂正とお詫び

日本ヘルスケア歯科学会誌(第22巻第1号)に以下の誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

- 4ページ 目次5段目の総説著者名
(誤) 足本 敦 → (正) 足本 敦 / Jørgen SLOTS
- 5ページ 目次5段目の総説著者名
(誤) Atsushi ASHIMOTO → (正) Atsushi ASHIMOTO / Jørgen SLOTS

認証ミーティング(第19回)

エントリー受付中!

2021年7月10日(日) 10:00～(予定) 会場: AP浜松町(東京)& オンライン(Zoom)

認証ミーティングは、認証診療所の実態が総括的に理解できるまたとないチャンスです。

ご希望の方は事務局までお問合せください。

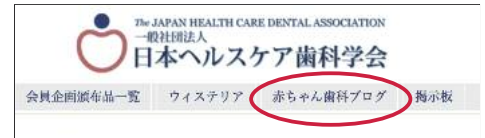
連載 5

フォーラム

フォーラム

【ヘルスケアと赤ちゃん歯科】 ウェル baby イング

杉 真一郎 (神戸市開業)



会員サイト内：[赤ちゃん歯科ブログ]

赤ちゃん歯科は究極のヘルスケア

私が歯科医師になった当時は赤ちゃん歯科という言葉はまだあまり知られてなかったように思います。私が赤ちゃん歯科を明確に意識し始めたのも開業してからで、ヘルスケアを志す方の中でもより低年齢からの口腔への介入に関しての可能性を何となく考えておられる方は多いはずで

私はもともと卒後、病院歯科で口腔外科を学び、歯を残すことに縁がないところから歯科がはじまりました。開業を考えるなかで勤務した和歌山の金尾歯科で小児歯科を学び、そして関西ヘルスケア歯科談話会に足を運ぶこととなります。金尾歯科ではヘルスケアが予防歯科ではなく、歯科診療を行うにあたって基盤になることを学び、小児歯科ではカリエスへの対応だけではなく、叢生に対するアプローチを学びました。叢生がカリエスやペリオのリスク要因で、それを予防することはできないのだろうか。また、発育段階の口腔へのアプローチをすることで、根本的な予防ができないのだろうかと思うようになり、より低年齢の小児の口腔への興味に変わっていきました。より健全な理想的な発育を促すことができれば、叢生もなくなりカリエスも減少する。そんな簡単な思いで興味を膨らませていきました。しかし、生まれたばかりの我が子の育児をとおして、低年齢の患者への診療や予防の進め方の難しさを痛感しました。

そのようなタイミングで赤ちゃん歯科という言葉に出会い、赤ちゃん歯科に関する多くの経験やエビデンスをお持ちの方の学びを聞く機会を得ました。やはり、0歳から3歳までの発育が口腔と大きく関係することを確信しました。咀嚼という基本的な運動は口腔から始まることを考えれば、我々歯科医が0歳から口腔の発育に関わることは必然だと思いました。もっと突き詰めていけば、三つ子の魂百までと言いますが、3歳までの口腔への健全な発育は成人後の健康の基盤になることは間違いないはずで、まだまだ発展途上で、経営的な面では臨床での赤ちゃん歯科は難しいことも多

いですが、本当に地域の患者の一生の健康を考えた場合、ヘルスケアを志す臨床歯科医にとって赤ちゃん歯科は究極のヘルスケアと言っているのではないのでしょうか？

そんな思いのなか、3年前に当院の隣のテナントが空いたことをきっかけに企業主導型保育園を開園しました。地域医療、赤ちゃん歯科を実践できる場になると思い、大義名分を得た思いで開園しました。意気揚々と歯科医が介入する保育園ということで始めましたが、なかなか我々が思うことを保育士は理解できませんでした。そもそも、保育園という場所を我々歯科医側もわかっていなかったからです。もちろん、歯科医院が経営する保育園ということで集まった保育士やスタッフでしたが、いざ、はじまると保育士業務で手いっぱいでしたし、我々が介入するところがなかなかなかったのです。我々が子どもたちにしたいことは口腔からみる健全な全身の発育でしたが、頭で保育士に説明してもそれが保育活動のなかでどのように導入され、子どもたちに活かされることがわからないのです。また我々歯科医側も保育活動ということの意味が分かっていなかったのです。保育は基本的に一日の生活環境を整えることから始まります。毎日の整った生活が健全な発育が生まれるということなのです。つまり、寝る、食う、遊ぶの基本的な生活活動が保育には重要なのです。





我々はその基本的な生活活動の質をあげることが使命になるのです。寝る，食う，遊ぶの中の赤ちゃん歯科の知識や知恵を盛り込んでいくことが重要なのです。

私たちは保育士や保育スタッフと何度もディスカッションすることで，保育活動に赤ちゃん歯科のエッセンスを取り入れてもらうことができるようになりました。保育園の給食を担う管理栄養士も具体的に食という事で本来の職務以上に経験や能力を活かされていると思います。よく食べられる工夫ができれば，お腹がいっぱいになり，その後のお昼寝はしっかりできます。しっかり睡眠がとれていれば元気いっぱい身体を動かします。体の動かし方も赤ちゃん歯科の学びを大いに活かされています。

食べるという基本行動を担う口腔は全身のバロメーターになります。口腔の発育を促せるような姿勢，体位を確認することは私たちでもできると思います。

子育て世代のお母さんや地域の患者に伝えることは，保育園から発信するほうが，我々が臨床のユニット上で伝えるよりも伝えやすいのも事実です。二足の草鞋なようですが歯科医院と保育園はとても相性の合う仕事で，今は天職のように思っています。また小さいうちから長く子どもたちに携われることは，長い歯科医師人生においてとても励みになります。

同じような思いをたくさんの歯科関係者の方が感じられ，赤ちゃん歯科をもっと皆様に知ってもらえたら幸いです。



2020年度に定款が改定され「終身会員制度」の新設に併せて，正会員歴20年以上かつ70歳以上の方を「永年会員」として表彰しています。

今回は2021年12月31日までに対象の年齢となられた方の表彰をいたします。永きに渡り当学会の活動に貢献されてきたことに感謝し，学会として記念賞状と記念品をお送りいたします。

これからも当学会の活動にご支援・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

入会年	氏名	勤務先名
1998	岡 賢二	医) 岡歯科医院
1998	阿部正俊	阿部歯科医院
1998	梅安秀樹	つがやす歯科医院
1998	小川一夫	光仁会 小川歯科医院
2000	坂詰和彦	坂詰歯科医院
2002	田中和夫	田中歯科医院
2002	村上和彦	医療法人 村上歯科医院

※この内容は，2022年2月1日の会員登録情報を元に作成しています。生年月日が不明な方は掲載されておりません。また情報の間違いにお気づきの方は，事務局までお知らせください。

■ 2021年に事務局で把握した会員の訃報は次の通りです。長年の地域歯科医療へのご貢献を讃えるとともに本会へのご協力を謝し，心からお悔やみ申し上げます。

■ 荒井 法行 様 (神奈川県横浜市) 令和3年3月8日歿 享年61 (59歳)

第6期 コア・オピニオンメンバーってどんなメンバーなの？ コアメンバー・オピニオンメンバーってどんな役割をしているの？

昨年 (vol.24 no.1) から始まった表記連載も6回目を迎えました。オピニオンメンバーの紹介については新任からスタートし留任歴の若い方から紹介してきました。今号では更に留任歴が増し、いよいよ当学会では皆様よくご存じのベテランメンバーの紹介となります。また当学会以外の所属学会や役職をご覧になると、他分野でも様々活躍されている方々です。

自己紹介の③当学会入会へのきっかけ、関わり④会員への一言など、それぞれ人となりの分かる興味深い内容ばかりですので、ぜひ一読いただければ幸いです。(林 浩司)



- ① わたなべ まさる 渡辺 勝 埼玉県春日部市開業 わたなべ歯科 院長
 ② 日本歯科大学新潟歯学部 (1994 年卒) 日本歯周病学会, 日本臨床歯周病学会
 ③ 学会設立時は勤務医でしたが、当たり前のように入会しました。2000 年に開業。現コアメンバー。
 ④ 現在は医院のライフワークでもある、赤ちゃん歯科部会、禁煙支援部会、EBM 部会の世話人もやらせていただき、臨床とのリンクがさらに充実した歯科人生を送らせていただいています。周りからは忙しくしている様に見えるようですが本人は至って楽しんでます。一回しかない人生。皆さんも思いっきり楽しんでいきましょう！



- ① まるやま かずひさ 丸山 和久 兵庫県神戸市開業 丸山歯科医院 院長
 ② 北海道大学歯学部 (1988 年卒)
 ③ 同じ神戸の藤木先生のお話を聴く機会があったのがきっかけです。2002 年の秋季学術講演会に初参加後は関ヘルでお世話になり、2019 年からはコアメンバーの末席を汚しています。
 ④ 開業してからですが、多くの皆様ヘルスケアと出会えて本当に良かったと思っています。20 年前に新たなメンバーをそれはもう温かく迎えてくれた当時の関ヘルの雰囲気や、学会でも醸し出せないものかと思っています。みんなでやりましょ、ヘルスケア。



- ① かわしま たけし 川嶋 剛 東京都国立市開業 川嶋歯科医院 院長
 ② 東京歯科大学 (1992 年卒) 東京歯科大学歯学研究科解剖学先攻 (1996 年修了) 日本歯周病学会, 日本口腔インプラント学会
 ③ 熊谷崇先生の講演を拝聴したのがきっかけで入会させていただきました。
 ④ 日本ヘルスケア歯科研究会のときから、オピニオンメンバーをやらせていただき長い年月がたちました。その間にコアメンバーの先生方をはじめ色々な方々に支えられて現在に至ります。多くの仲間存在は非常に大きく、それがなければここまでたどり着けなかったと思います。これからも色々な方々と支え合いながら活動してゆきたいと思います。



- ① やまだ みほ 山田 美穂 東京都荒川区 太陽歯科衛生士専門学校専任講師 歯科衛生士
 ② 日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校 (1996 年卒)
 ③ 専門学校卒業後、大学部活の OB 河野正清先生の小平市河野歯科医院に就職したことで本学会 (研究会) 設立時より会員です。最高のご縁だったと思っています。2011 年認定歯科衛生士取得。コースインストラクター、【ハイジなわた歯】隊長。
 ④ 職種関係なく、横のつながりが広がっていく魅力的な学会だと思います。困ったときに相談できる仲間が全国にいるって素敵ですよ！ 日本ヘルスケア歯科学会と一緒に盛り上げましょう！！



- ① はまばた まちこ 浜端 町子 埼玉県深谷市 丸山歯科医院勤務 歯科衛生士
 ② 埼玉県立衛生短期大学歯科衛生学科 (1992 年卒)
 ③ 院長が研究会の頃から入会し、私も一緒に参加しておりました。私自身も第 1 期歯科衛生士育成プログラムの受講及びスタッフに参加するにあたり入会しました。
 ④ 今の医院に入り 28 年経ちました。長く患者さんと関わり続けることが大切だと実感しています。ヘルスケアの輪を更に広げるよう力を尽くしてまいります。



- ① たむら めぐみ 田村 恵 東京都小平市 河野歯科医院勤務 歯科衛生士
 ② 東京都歯科医師会付属歯科衛生士専門学校（1994 年卒） 日本歯周病学会
 ③ 新卒から河野歯科医院に勤務したのでそのままヘルスケアに。28 年前就職先を決めるため 10 歯科医院を見学しましたが全ての患者さんに口腔内写真を撮影し、歯科衛生士のアポイントがあるのは河野歯科だけでした。
 ④ 歯科衛生士の地位向上に貢献したいと思っていますが何かからすればいいのか…
 皆さんお力添えお願いします！



- ① うえだ やすひろ 上田 康弘 埼玉県草加市開業 さくら歯科医院 院長
 ② 東北大学歯学部（1997 年卒） 日本口腔インプラント学会、日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会、日本顎咬合学会
 ③ 2005 年に熊谷先生の講演を聞き、予防歯科に興味を持ち川口市の田中歯科クリニックさんを見学に行き当学会を知り入会。現在オピニオンメンバーです。
 ④ 日本ヘルスケア歯科学会の皆さまは本当に素敵な方ばかりで、自分の歯科人生だけでなく、個人の人生にも彩りを与えてくれています。皆様に感謝すると共に、これからもよろしくお願い致します。



- ① みやもと まなぶ 宮本 学 兵庫県神戸市開業 医療法人社団 宮本歯科・矯正歯科 理事長
 ② 岡山大学（1987 年卒）、岡山大学大学院歯学研究科（1991 年修了） 日本歯周病学会、日本矯正歯科学会、日本口腔衛生学会等に所属、現在灘区歯科医師会副会長、神戸市歯科医師会常務理事
 ③ 学会前代表の藤本省三先生と開業地が近く知り合いになったことを機に、臨床資料を残すという学会の姿勢に共鳴し入会しました。2016 年認証診療所取得、現在は会誌編集委員長として活動しています。
 ④ 診療室から日本の歯科医療を変えることは容易ではありませんが、それに向かって活動する同志が数多く居ることに勇気を与えられます。私自身は予防歯科のバックグラウンドがありませんので、本学会の積極的な姿勢を、歯科医師会の地域保健活動や衛生士教育の場でも大変参考にさせていただいています。私達の考えるものが今後の歯科医療のメインストリームになるよう願ってやみません。



- ① はやま いさむ 羽山 勇 奈良県大和高田市開業 羽山歯科医院 院長
 ② 大阪大学歯学部（1978 年卒） 日本顎咬合学会、日本口腔インプラント学会、臨床歯周病学会、奈良歯科先進医療研究会、即時荷重研究会
 ③ 開業してインプラント治療に興味を持ち、そのメンテナンスのために歯科衛生士の重要性に気がつき、同級生の広島竹下哲先生のエッセイを読んで、当学会の存在を知り入会しました。2005 年日本ヘルスケア歯科学会入会、2013 年認証診療所取得、歯科補綴物長期予後検討フォーラム所属
 ④ ヘルスケア歯科学会のメンバーは真面目に歯科治療に取り組んでいる先生が多く、診療所見学を依頼しても快く引き受けてもらえ、臨床の疑問など親身になって相談に乗ってもらえるところです。

【自己紹介凡例】

- ① 氏名 開業（勤務）地及び名称
- ② 出身学校（卒業年）、最終学歴等、当学会以外の所属学会、他役職
- ③ 当学会入会のきっかけ、関わり
- ④ 会員へ一言

SNS/YouTube で情報発信中！

学会 web サイトの更新情報（セミナー・イベント情報）をほぼ
 随時発信中！ 医院のスタッフの方もどなたでも登録 OK！
 ＊会員限定のメールマガジンも不定期配信中！ 事務局までメ
 ールアドレスを登録してください。



復活!!

The HyG Times

動画で POINT をらでしよら (1)



この企画は、日々の診療のなかでちょっと確認したいテクニックや認定歯科衛生士を目指すうえでの検定のチェックに入る項目などを「動画」で解説してしまおうというコーナーです。

ちょっとした時間に、QRコードを読み取ってポイントチェックができます。

ぜひ活用してみてください！

また、「こんな内容が知りたい!」「こういう時どうしたらいい?」などリクエストも受け付けます。どしどしご意見ください。みんなでいいもの作っちゃいませよ!!

(山田美穂 太陽歯科衛生士専門学校)

第1回目は【プロービング】です。

幾度となくとりあげられてきているテーマですが、検定で手こずるのもこれですね。改めて、基本テクニックについて確認したいと思います。歯周組織検査を行う上で大切なのは「正しい方法で行う」ことです。

正しい方法とは、

- ・プロービング圧 (15~25g : 20g 以下ぐらいを目安にするとよいでしょう)
- ・ストローク (細かくメリハリのあるウォーキングストローク)
- ・根面に対する挿入角度 (角度が違えば数値が全く変わってきます)

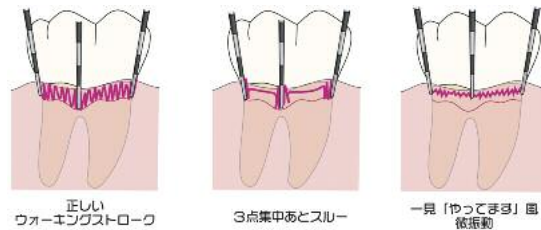
今回の動画は

1. ストローク POINT, 2. 根面に沿わせる POINT, 3. 最後臼歯遠心の挿入 POINT の3つです。

1. ストローク POINT

正しいウォーキングストロークって意外に意識しないと難しいかもしれません。

よく見る「残念パターン」と見比べてみてください。



2. 根面に沿わせる POINT

挿入角度が違っていると数値にズレが生じます。

コンタクト直下 (col) などの意識も大切です。歯根の形態をきちんと把握することと、ミラー視によって角度の感覚が変わることがあるので「ミラーと友達」になりましょう。

ポジションによっても見え方が違ったりします。「正しい角度」を確認してみてください。

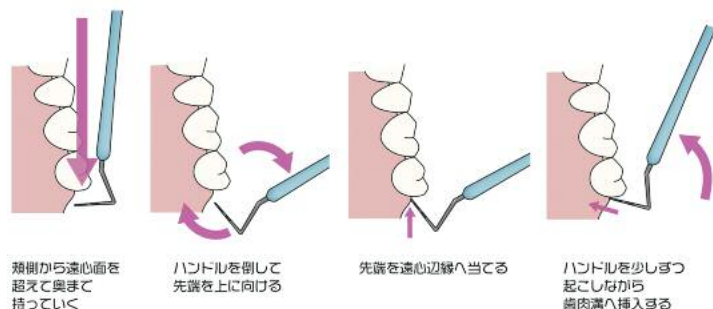


3. 最後臼歯遠心の挿入 POINT

最後臼歯の遠心は「入っているつもり」で済まされてしまっている事も多いような気がします。

「正しい」検査を意識して確実に出来るようにしましょう。ちょっとした意識でスムーズに行えるようになると思います。

動画も活用しつつ、ぜひ院内でのキャリブレーションもして下さいね!



みなさんお久しぶりです!! 帰ってきました「The HyG Times」です。新企画を引っ提げて再びみなさんと誌面を盛り上げていきたいと思っています。QRコードは動画が見られます! 次号からは河野正清先生のご機嫌 LIFE 連載も始まりますのでぜひお楽しみに!! (山田美穂)

私が歯科医師になった30年ほど前は歯科医師の知識、技術が歯科医療を成功させるすべてであり、スタッフは歯科医師の働きを円滑にする補助だったように思います。しかし最近は診療報酬も歯科衛生士が中心に行う、う蝕と歯周病の重症化予防に点数が割り当てられるなど、歯科医院は歯科医師の力だけではなく、歯科衛生士を含めたスタッフ全員の力によって運営が成り立ち、患者利益をもたらすようにシフトしてきています。

チーム医療の重要性をこのような歯科界の変化に先駆けて発信してきた我々にとって、ようやく時代が追いついてきた感がありますが、安定したチーム医療に必要なスタッフの確保はヘルスケア診療を長く続けている我々にとっても昨今深刻な問題となっています。

とくに歯科衛生士に関しては、少子化によって、若い優

秀な人材が他業種との取り合いとなり、衛生士養成校への入学者や実際に歯科衛生士として働く人が減少していくのではないかとことも危惧されます。

現時点でスタッフに関して困っていない医院でも、常にこのことを頭に入れておかないと我々のような中小企業はすぐに足元をすくわれかねません。

やっぱりいい感じに働きたいっしょ！

齊藤 仁 (さいとう 歯科室)

安定したスタッフの雇用を継続するために最も重要なのは「働きやすい環境作り」であり、その基礎となっているのが労働基準法ですが、意外と遵守できていない医院もあるのではないかと思います。スタッフが働きやすい環境作りのために、まずは労働基準法について理解し、知識を整理するためのコラムを連載していきたいと思ひます。

インスタライブ 開催

2021年12月29日年内ラストのインスタライブを開催しました！

今回は山田と菅根で『ニューズレターをもっとスタッフにも読んでもらうにはどうしたらいいか？』をテーマにゆる〜いトーク。

どんな話なら皆読みたいかな？みんながワクワクするような楽しい企画、何かないかな？なんて話をしました。お互い好き勝手話していますが、ちゃんと結論も出ます(笑)たくさん出たアイデアをしっかり形にして、ニューズレターに反映していけたらと思っています！

2022年もこんな感じでゆるいインスタライブをやりますので、ぜひ遊びに来てくださいね。



おいでよ！ our workplace

たるみ歯科クリニック (兵庫県宝塚市)

院長：樽味 寿 チェア：10台

スタッフ：

- 歯科医師 常勤3名, 非常勤8名
- 歯科衛生士 常勤8名, 非常勤7名
- 受付助手 常勤4名, 非常勤2名
- クリーンスタッフ 非常勤1名
- 事務員 非常勤1名

たるみ歯科クリニックはJR 中山寺駅から徒歩5分のところにある医療ビルの2階にあります。エレベーターがあり、院内もバリアフリーにしているため車椅子、ベビーカーでの来院も可能です。

自分たちが安心して診療を受けられるような滅菌レベルにしようと滅菌にも力を入れています。

(山下真由 歯科衛生士)



ウェビナー報告

Webセミナー 2021年45～46回
 新ヘルスケアオンラインサロン 2022年1～2月
 DHサロン 2021年11月 2022年1月

ヘルスケア Web セミナー

第45回 2021年11月17日(水)20:30～ 運営：島野 オープンセミナー『資料もっと！活用BOOK』(3/4回) 「歯周組織検査について」

(パネリスト：高橋 啓・堀坂寧介)

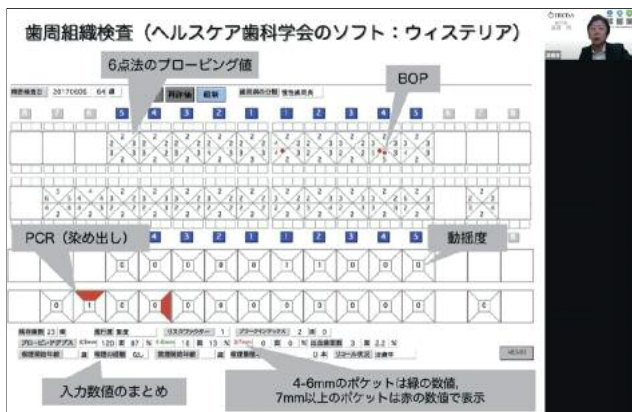
私は卒後三年目の歯科衛生士です。プロービングは最近になりやっと安定して測定できるようになったという感じで、セミナー内容についていけるか心配でしたが、ヘルスケア診療のベースの話ということで、自分も少しでも近づきたいと思い参加しました。

まずセミナーのなかで学んだのは「資料を読み取る力」と資料の質を向上させることが重要ということです。

ドクターと歯科衛生士、患者さんの間で資料を共有することで、治療はもちろん患者さんの指導や、メンテナンスのメニューを考えるとときに活用できることがわかりました。

患者さんと共有するためには口腔内の状態をわかりやすく伝えることが必要であり、これは今の私でもできると思うので早速実践しようと思いました。

このセミナーに参加して自分の今後の課題が見えてきました。まずは情報を読み取ることができるよう探知する力を強化したいと思います。そのために今まで捉えていなかった患者さんの歯周ポケット内の感触を毎日メモしていこうと思います。そして歯周組織を三次元的に捉えられるような力を身につけたいです。(報告：歯科衛生士 小坂瑞穂・八潮駅前通り歯科医院)



第46回 2021年12月8日(水)20:30～ 運営：島野 オープンセミナー『資料もっと！活用BOOK』(4/4回) 「サブカルテについて」

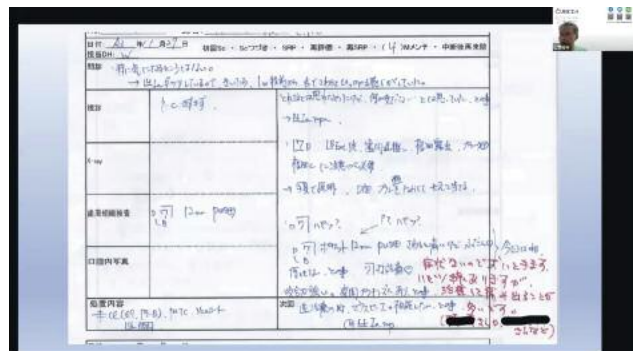
(パネリスト：高橋 啓・山本修平)

私の所属する医院でも日々の診療において、サブカルテはなくてはならないものです。単に、OHIや処置の内容を記載する業務記録にとどまらず、体調、服薬内容、診療上留意すべきこと、趣味、職業、ご家族の近況…小児や学生であれば、クラブ活動や習い事など患者さんとのコミュニケーションや観察で得られたあらゆる情報を記載する自由度の高い書式を用いています。

今回のセミナーでは、認証診療所で用いられているサブカルテ原本が活用方法の具体例として示され大変参考になりました。例えば、歯科医師が歯科衛生士の記録内容に目を通しコメントを書き込む、読了のチェックを入れる、新人歯科衛生士とペアを組んだ先輩歯科衛生士からの助言を記載するなどです。人々の健康な歯列を守り育てるためのシステム構築に欠かせない人材育成の場面でもサブカルテが活用されていました。

そのほか、書籍でも紹介されていた第1・第2大臼歯萌出状況の図示と当該部位のケア内容の記録は私も取り入れてみようと思いました。「書きやすく、読みやすく、皆に役立つサブカルテ」を今後も追求し、ヘルスケア診療の質を高めていきたいと思いました。

このオープンセミナーのアーカイブ視聴と併せて医院見学をしたような気分になれる『資料もっと！活用BOOK』を読み込んで、医院に日々蓄積されていく資料をもっと！活用したいと思います。(報告：歯科衛生士 池田武都美・古畑歯科医院)



新 ヘルスケアオンラインサロン

2022年1月11日(火)20:30～ 運営：渡辺

(ホスト：高橋 啓・渡辺 勝)

今回は12名の参加者でした。参加者のなかに4月の月刊歯科衛生士にX線の規格撮影に関して執筆する機会をいただいた方がいたこともあり、規格撮影をしていたことの利点だけでなく、スタッフ目線からの撮影していたことのメリット、効果などを、シェアしあいました。また、学校歯科部会の方から、2月のオンラインサロンにてベテラン歯科衛生士の対談を予定しているので、それに関してのお誘い、打ち合わせを行いました。参加者からの発言から、思いもよらぬ規格撮影をし続けていたことの利点や、咬翼法撮影の工夫を聞いて、お互いに得られるものがたくさんある時間を過ごせました。

(報告：渡辺 勝・わたなべ歯科)

2022年2月8日(火)20:00～ 運営：古市

(ホスト：府川美佐子・山田美穂)

学校歯科の活動報告の一環として、鈴木歯科医院の府川美佐子さんと太陽歯科衛生士専門学校の山田美穂さんの対談という形で、府川さんの行ってきた学校歯科への取り組みを紹介していただいた。学校歯科での鈴木歯科医院の取り組みは非常に綿密に計画されたもので、歯科教育ひとつとっても資料・教材の用意、父兄へのアプローチなど、効果的なものを長期にわたって行っていたことがよく分かった。また歯科検診の結果表と児童の口腔内写真を組み合わせるなど、何気ないところに細かい工夫を加えて、児童、父兄、教員への興味をひかせるようになっていた。

学校歯科の取り組みはヘルスケア歯科診療を行ううえで、非常に早期に効果的に行える場だと思う。鈴木歯科医院の行ってきたことはヘルスケア歯科学会の会員のモデルケースとなり、ぜひ我々が見習うべきものだと思う。

今回、サロンの参加者が30人となり大変盛況だった。府川さんとお会いしたい歯科衛生士さんたちが多数参加してくれた結果で、これからのサロンでも普段参加しない人たちに事前に内容をお知らせすることで、また盛況なサロンを開催したいと思う。(報告：古市貴暢・古市歯科医院)



DH オンラインサロン

2021年11月18日(木)21:00～

今回のテーマは2つです。

テーマ① ヘルスケア DH ってどんな仕事をしているの？

今回は田村 恵さんと奥山洋実さんをゲストにお招きして、参加者みんなで『ヘルスケア DH の普段のお仕事』についてお話ししました。

——インスツルメント把持法あるある話

みなさんインスツルメントは正しく把持できていますか？

意外とできていない人が多い把持方法。この把持ができていないと、上手く臨床をすすめることができません。カギとなるのは『OK マーク』です。みんなで集合写真でやってみました！



——新人歯科衛生士とベテラン歯科衛生士の指導の仕方、どのように分けているの？

一つの医院でも様々な年代や経験年数のスタッフがいます。全員に同じ教え方をするのはではなく、その人に応じたやり方が必要となってきます。

そんなとき、皆さんならどうしますか？ こちらは様々な医院で活躍されている奥山さんに、どのような指導方法をしているかのお話しをしていただきました。

そのほかにも、こんな医院は残念！ 歯科衛生士の地位向上のためにできること、などなど… このオンラインサロンだからこそ出るわ出るわの熱いトーク！

飛び交うトークにすみません、最後は書記が追いつきませんでした(笑)。

テーマ② 院内探検ツアー

新企画！ movie で院内見学をバーチャル体験してみよう！のコーナーです。

待合室から診療室、なかなか普段見ることのできない消毒室やスタッフルームなどを動画撮影してもらい、質問や解説を交えながら見学するというもの。

今回は兵庫県の“たるみ歯科”にお邪魔しました。

阪神グッズが展示されているという噂は聞いていましたが、実際に見てみると想像以上のグッズ数に圧巻でした!!

広いたるみ歯科ですが、感染管理をはじめ、整理整頓やお掃除が隅々まで行き届いておりとってもキレイ。

各個人のルーペ置き場や、細かいバーを入れておく入れ物の工夫など勉強になりました。たるみ歯科流院内お掃除術、ぜひ聞いてみたいですね。

(報告：歯科衛生士 菅根麻里恵・杉山歯科医院)

で認識できるのもいいと思いました。

また、たるみ歯科では先輩DHと新人DHとの交換ノートがあるそうです。このノートに何を書くかを考えることが振り返りやフィードバックに役立つし、コミュニケーションツールとしても活用できると思いました。

テーマ② 最近の学生の特性・ここ2年間くらいのコロナ禍学校事情

太陽歯科衛生士専門学校の山田美穂さんからは近年の学生の特性、コロナ禍の学校事情についてお話ししていただきました。

離職理由NO.1とよく言われているのが“人間関係”ですが、そこをもっと深掘りしていくと、それぞれの“モチベーションの差”が孤立を生み、人間関係を悪化させるという負のスパイラルになっているということをお話しされました。

またコロナ禍で大打撃を受けてしまっている教育現場では、学生たちが実習を行うことが出来ない=人の口を触る機会がほとんどないままです。それに加え近年は、心が折れやすく考える力が皆無に近い学生も多いとのことでした。

そんな学生やこれから卒業し就職する新人DHにも、強みを見つけてあげる、考える楽しさを伝える、目標や目的を意識し自ら設定できるような環境作りが大切であると学びました。

今回のサロンでは、新人は全員野球で育てなければ答えを出すのは難しいテーマであることから、初めてDH以外の会員も参加OKとしたところ、ドクターも参加してくれました。歯科医師目線でのアドバイスもしてもらい、とても充実したサロンとなりました。

引き続き様々なテーマでサロンを開催していきますので、皆様のご参加お待ちしております!

(報告：歯科衛生士 菅根麻里恵・杉山歯科医院)

2022年1月9日(日)9:00～/1月25日(火)21:00～ 新人教育

テーマ① うちこんな風に育てています!

たるみ歯科の山下真由さんより、たるみ歯科流の新人教育の方法をお話ししていただきました。たるみ歯科には教える人によって違いがないように、各分野にそれぞれマニュアルがあります。また指導の進捗表をスタッフみんなが見やすい位置に貼り、新人歯科衛生士(DH)が何をどこまでできるかを全員



ウェビナー告知板

参加希望される方は学会ホームページよりお申し込みください。お申込み後、自動で申込完了メールが届きます。Zoom ミーティングの URL が記載されていますので、こちらからご参加ください。もしメールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

Web セミナー (参加費：3,000円)

49回 2022年4月12日(火) 20:30～21:50

パネリスト：奥山洋美 メインホスト：秋元秀俊
院長に代わって 経験豊富な歯科衛生士・奥山洋美に聞く

50回 2022年4月27日(日) 20:00～21:00

パネリスト：千草隆治
ペリオセミナー (1/3) 理解しておくべき病因論と疾病背景

51回 2022年5月22日(日) 10:00～12:00

講師：井川雅子(静岡市立清水病院口腔外科)
メインホスト：足本 敦
「その痛み、本当に歯/顎関節が原因ですか？」(原因不明の歯痛・顔面痛をどう診断するか～非歯源性歯痛から精神疾患まで)

52回 2022年5月25日(水) 20:00～21:00

パネリスト：千草隆治
ペリオセミナー (2/3) チームで行う歯周基本治療

53回 2022年6月22日(水) 20:00～21:00

パネリスト：千草隆治
ペリオセミナー (3/3) 治療から定期管理までの体制づくり

新オンラインサロン (参加費無料) 毎月第2火曜日

2022年3月8日 ホスト：高橋啓 渡辺勝

2022年5月10日 ホスト：高橋啓 渡辺勝

DH オンラインサロン (参加費無料) 不定期開催約1時間

2022年4月 日程未定

実践フォーラム

実践フォーラム

フォーラム「ヘルスケアと矯正歯科」より
矯正（不正咬合）について

中川正男（大阪市開業 中川歯科医院）

現在、ヘルスケアの矯正に興味を持つ有志が集まり、矯正についてのテーマで意見の交換を行っており、私が抽選にてトップバッターとなり、最初に始めさせていただきます。

矯正について

今日の矯正については、非常に幅広く、小児の予防矯正から、成人のワイヤーブラケットを使用した本格矯正、及び最近のインビザラインまで、どこに焦点を絞るか迷ってしまいますが、私の場合、この20年間ぐらいは主に小児期よりの悪習癖、呼吸問題まで考慮に入れた不正咬合について考察しながら矯正を行っていますので、これについての私の見解を述べさせていただきます。

私について

まず初めに私のヘルスケアの経歴、並びに矯正経験など簡単にお話しさせていただきます。

ヘルスケア歯科学会には2001年に入会、年齢も今年で74歳になりますので、ほとんど古参に入る年齢ですが、幸い歯科には定年がなく、健康に恵まれ、現在もほとんど毎日診療は続けています。

矯正歴も私自身、親から歯並びが悪いと抜歯をされ、また今では考えられませんが、大学時代は矯正専門医の医院に入りし、矯正を身近に感じていました。ということで、矯正歴は50年以上、症例も1000例を超えるようになってきており、現在診療室は矯正患者さんの受け入れは、制限せざるを得ない状況です。

矯正方法も時代とともに変化しており、いまだ学ぶべき多くの課題があり、ボケ防止もかねて、新しい発見にチャレ

ンジしている昨今です。

MFT（口腔筋機能療法）について

悪習癖を伴う筋機能の異常が不正咬合に関与していることについては、MFTという言葉が歯科衛生士学校でも授業に取り入れられていると聞いており、当院もスタッフ参加の矯正治療を構築しています。

また最近では、デンタルハイジーン2021年12月号に以前ヘルスケアミーティングでも講演されました井上裕子先生が「不正咬合も予防が大切！」と特集を組まれていますので、ぜひご覧ください。

不正咬合の原因については、1930年代に世界中を旅し、アボリジニー、ゲール人、スイス人、エスキモー、北米インディアン、マオリ族など10年を掛け、多くの原住民や孤立した人々を訪れ、出版されたウエストンAプライス博士の『食生活と身体の退化』は、日本でも翻訳され、不正咬合を考えるうえでの、大きな示唆を与えてくれています。

彼が興味を持ったのは、伝統的な食生活から近代的な食生活に変えたときの変化の影響を調べることで、口呼吸を発症し、筋機能の異常、顎顔面の不正発育、結果として不正咬合を引き起こすことにも言及されています。

500ページ近い大著ですが、できれば医院に1冊おかれることをお勧めします。

口呼吸について

最近不正咬合の原因と言われている口呼吸ですが、これも1950年代に、ロシアの医師コンスタンチン・

ブッテイコによって治療法が開発されました。

彼のメソッドは、何十万人もの子どもや大人に実践され、今日アイルランドのパトリック・マッキューン先生が自らの経験から、ブッテイコ・メソッドとして世界中にも発信しておられます。

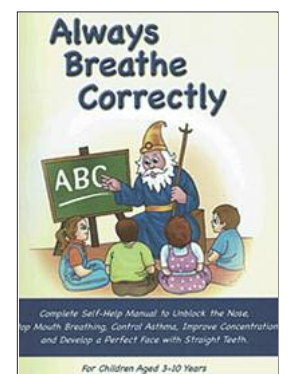
口呼吸に関しては、不正咬合のみならず、放置すると重度の閉塞性睡眠時無呼吸も引き起こすといわれており、国際歯科連盟(FDI)でも、小児の頃からの予防が大切であると叫ばれています。

パトリック・マッキューンのブッテイコ・クリニックでは、呼吸に関して、世界中でも多くの治験例があり、また有益な情報を発信されていますので、関心のおありの先生、歯科衛生士さんは一度アクセスしてみてください。

また当院ではパトリックの患者さん向けガイドブックの日本語訳を行い、要点をまとめた小冊子を患者さん指導に使用しています。ご興味のある方には、ぜひ読んでいただきたい推薦文です。

私のメールアドレスまでご連絡いただければ、ご送付いたします。但し著作権の制約から、個人利用の範囲でお願いします。

以上、紙面の都合上、伝えきれなかったことが少なくありませんが、ヘルスケア



ア歯科学会の会員におかれましては、不正咬合の放置は、歯並びだけでなく、健康にも影響するというので、予防に取り組むべき時期にきているということをご理解ください。

これからは、スタッフを巻き込み、ぜひ取り組んでほしい分野です。
私の連絡先と参考文献をあげておきますので、ご利用ください。

中川歯科 中川正男
dent-q@oct.zaq.ne.jp
パトリック・マッキューン
URL <https://myotape.com/>

【参考文献】

- 1) Weston A. Price. 片山恒夫(訳) : 食生活と身体の退化. 大阪: 恒志会; 2010.
- 2) Patrick McKeown: Always breathe correctly. Asthma Care; 2010.
- 3) Patrick McKeown: Buteyko Meets Dr Mew. Asthma Care; 2010.
- 4) パトリック・マッキューン. 桜田直美(訳) : トップアスリートが実践 人生が変わる最高の呼吸法. 東京: かんき出版; 2017.



Healthcare bibliography

ヘルスケア歯科学会会員の
執筆掲載雑誌・書籍を報告!

報告：大井孝友

雑誌掲載

- カリエスマネジメントを、臨床的に解説する
Clinical Caries Management
第12回 根面う蝕
杉山精一
ザ・クインテッセンス 9月号 p.194-204 クインテッセンス出版
- Spark Joy! DH
イラストレーション制作 山田美穂
歯科衛生士 12月号 p.23 クインテッセンス出版
- フツ化物局所の現在地
石塚洋一
歯科衛生士 1月号 p.63-70 クインテッセンス出版
- 予防の常識・非常識
藤木省三
nico 12月号, 1月号 p.60-61 クインテッセンス出版
- 教えて! 歯医者さんQ&A
歯の根の治療中にもし歯周病が悪化すると...?
泉英之
nico 1月号 p.50-51 クインテッセンス出版
- 勤務医とともに成長する歯科医院の作り方
第1回 勤務医(代診)の採用
沼澤秀之
新聞 QUINT online 2022年1月号 クインテッセンス出版
- この道30年 専門家が教える誠のスタッフ教育
「思いやるのは自分から」という話
井上和
デンタルダイヤモンド 12月号 p.182-183 デンタルダイヤモンド社
- 院内でスマートに身をこなす コミュニケーションのヒント⑩
「歯科衛生士さんのおかげです」を聴きたくて
年名 淳
DHstyle 12月号 p.92-96 デンタルダイヤモンド社
- 魂のハイジーンワーク
子どものメンテナンスで何を伝えますか?
奥山洋実
DHstyle 12月号 p.98-99 デンタルダイヤモンド社
- 魂のハイジーンワーク
患者さんの何を診る? 共有する?
奥山洋実
DHstyle 1月号 p.98-97 デンタルダイヤモンド社

- 症例から考える 患者さんのモチベーション
Case2 患者さんの想いに寄り添うことで生まれるもの
小林智美
デンタルハイジーン 9月号 p.990-995 医歯薬出版
- 症例から考える 患者さんのモチベーション
Case3 メンタルヘルスがセルフケア状態を左右すると気づいた症例
山下真由
デンタルハイジーン 10月号 p.1086-1090 医歯薬出版
- 症例から考える 患者さんのモチベーション
Case4 家族のサポートと理解が原動力
一診療室～在宅～施設入所：定期受診につながったケースー
吉弘幸
デンタルハイジーン 11月号 p.1216-1221 医歯薬出版
- 症例から考える 患者さんのモチベーション
Case5 女性によくみられる理由で中断するも再びメンテナンスに通院されるようになったケース
林裕美
デンタルハイジーン 12月号 p.1324-1329 医歯薬出版
- 症例から考える 患者さんのモチベーション
Case6 モチベーションの変化はいつ訪れるかはわからない
落合真理子
デンタルハイジーン 1月号 p.68-73 医歯薬出版

新刊書籍

- 肉芽の科学と臨床
下野正基編著
CHAPTER3 歯周病と肉芽(2)
藤木省三, 岡賢二 p.45-60 クインテッセンス出版
- メンテナンスが増える患者説明 超入門
そのまま使える! スタッフ教材+患者説明用カード 13
その治療に責任をもちたい。だからメンテナンスにおいてください!
伊藤中 p.10-17 クインテッセンス出版



ヘルスケア フォーラム

第14期歯科衛生士育成プログラム

基礎コース 最終回①～③

2021年11月21日・12月19日・2022年1月16日

最終回① (2021.11.21)

会場：おおの歯科医院 (兵庫県)

約2年ぶりに、数回延期された歯科衛生士育成コースのセミナーと実技検定が11月21日に行われました。この日に先立って開催されたオンラインセミナーで講師の方々や受講生の声を久々に聞いて、下がり続けていたモチベーションがぐっと上がりました。

私は対面でのセミナーを受けること自体前回の育成コース以来だったので、検定があるのも相まってすごく緊張しました。

始まってすぐに口腔内写真の検定から行いましたが、独特の緊張感でありえないくらい手が震えました。今までの会場とは違い歯科医院をお借りして開催されたので、日常の診療に近い雰囲気があったとは思いますが、普段通りに落ち着いてできませんでした。もう二度とあの緊張感を味わいたくないと思いつつ、日頃の診療で評価してもらえることがないのでとてもいい経験になりました。

SRPの実習は、器具操作をしている間

中、付きっきりで指導してもらえたので、疑問点を残すことなくできたと思います。通常通りのコースでは、そうはいかなかったと思うのですごくありがたかったです。

無意識のうちにやっている動作や癖を指摘され、診療中も気をつけようとすごく意識するようになりました。今までの育成コースを振り返ってみて、スタッフの方々とも受講生とも距離感が近いセミナーだったと思います。最後は、懇親会ではできない状況になりましたが、年齢や環境が違うたくさんの方とお話することができて、それも自分にとってとてもいい経験になりました。働いている環境は違っても同じような悩みがあったり、自分の職場以外の医院が普段どのように診療してるのか聞いてみたかったことなど話すことができました。

異例のことばかりでコースに携わっていたスタッフの方々は大変だったと思います。全体のコースはまだ終わってはいませんが、今回最後まで開催していただき感謝しています。まだ今の時点では



合否はわかっていませんが、今までよりも自分に自信がついたのでこの経験を忘れることなく日々の診療に臨んでいきたいです。

(宇都宮亜希 歯科衛生士・
宮本歯科医院)

最終回② (2021.12.19)

会場：その歯科クリニック (兵庫県)

午前中には口腔内写真撮影検定と歯周組織検査が実施されました。前回のコースから期間が空いていたこともあり、緊張する私たち受講者を講師陣の方々が優しく声をかけてくださり、落ち着かせてくださいました。

午後からは歯科衛生士の落合真理子さんからSRPの講義と実習を受けました。講義ではすべての口腔内にSRPが必要なわけではなく、見極めるためにどこをどう見るべきなのかを細かく学ぶことができました。

Before/Afterで比較し、どのくらい治癒したのか、しなかったかを医院全体が把握し、経過を追うためには、誰が撮っても同じクオリティーになる規格性のある口腔内写真の撮影技術と、歯周組織検査では適切なプロープ圧・挿入・ストロークで正しい数値を残し情報をシェアする必要があると感じました。

そのデータがあるからこそ、患者様と長く寄り添い、病因論に基づいた治療と定期的健康管理を実践し、その結果を常



に検証し改善を続けるヘルスケア型診療が実現できると思いました。

探知の実習で、探知用プローブを使い、抜去歯を触れました。エナメル質・CEJ・縁下歯石・セメント質添加・カリエス・破折線が指先に繊細に伝わりとても驚きました。今まではプローブのみで歯周ポケット内を探っていましたが、器具を知ることで新たな選択肢が増えました。

その後模型を使ってのSRP実習がありました。マンツーマンで指導を受け、苦手部位の操作方法を丁寧に教わりました。自身では気づかなかった手癖を知ることもできました。

14期歯科衛生士育成基礎コースを今回受講終了し、知識から技術まで一層深く身につけることができました。今回のコースで学んだことを日々の臨床に活か

していきたいです。

(吉永亜衣 歯科衛生士・
その歯科クリニック)

最終回③ (2022.1.16)

会場：その歯科クリニック (兵庫県)

基礎コース最終回を1人、再検定を2人が受講しました。



ITS (四国ヘルスケア) 主催 二階堂雅彦先生講演会

2022年1月19日 Web講演

去る1月19日、ITS (四国ヘルスケア) 主催のWeb講演会を行った。講師に東京都ご開業、東京歯科大学臨床教授の二階堂雅彦先生をお招きして、「歯周病新分類から紐解く病因論と臨床応用」と題してご講演をいただいた。

歯周病の臨床診断における分類は、1989年、1999年に発表されていたが、2017年に新たにアメリカ歯周病学会(AAP)とヨーロッパ歯周病連盟(EFP)の連名で発表された。

歯周病をStageとGradeで組み合わせて細分化しているためこれまで大きく異なり、臨床の場における導入に戸惑っていた。この度、二階堂先生に新分類の基本的な考え方と臨床での落とし込み方をわかりやすく解説していただいた。

Stageでは各種検査項目から現症をIからIVまで区分化し、「現時点における」歯周病の侵襲度合いを診断する。Gradeでは過去から現在の骨吸収量を考慮し、喫煙や糖尿病などを把握することで「将来的なリスクを見積もり」「歯周病の全身への影響を見積もる」ことができるようになった。これまでにない歯周病の臨床診断のアプローチのため、2017年に発表されたときにはまったく使うことができなかったが、前述のように解釈すれば、歯周病の過去・現在・未来を診断できるようになり、時間軸で患者のお口を管理することを目指している私たちヘルスケア診療所にとっては大変わかりやすい分類になったと言える。講演では、この新分類のStageとGradeを多くの症例から解説

していただいた。

また歯周病の病因論として「The Keystone Pathogen Hypothesis キーストーン病原体仮説」(2012年)を解説していただき、大変興味深かった。とある菌種が、細菌叢における存在比率は低くとも宿主免疫反応を攪乱しユニークな代謝活性を示すなどの特性を有することから、細菌叢構成菌種のプロファイルに大きな影響を与えることがあるというもので、これまでの病因論では不明瞭な動態を示していた*P.gingivalis*などが歯周病を引き起こす理由を説明してくれている。

最後に具体的な治療戦略を紹介いただいたが、①病因、リスクファクターの除



去, ②細菌検査, 抗菌療法, ③確定的治療, ④SPTと項目が分かっていた, 時間の都合上, すべての項目を解説していただくことはできなかったのが残念だった。ただ, 「ペリオの治療で最も大切なこと」としてDr.Donnenfeldの言葉を紹介していただき, 我々のヘルスケア診療所としての哲学にエールをいただいた。

90分という限られた時間だったが, 大変内容が充実し, 今後, 機会があれば改めて二階堂先生のご講演を企画したいと

思った。

色々と無理な要望に応じていただいた二階堂先生, 僕のがまを支えてくれたITSの仲間たち, Faebookやメールなどで講演会のお知らせをしてくれた事務局の方々, お忙しい中を講演会に参加していただいた先生方に感謝する。

(古市貴暢・高松市開業)



禁煙支援部会 寄り添って禁煙したい気持ちを育む

2022年1月30日

禁煙支援部会の私たちは, タバコの害に興味はありますが, タバコ自体に対する興味が少なく, 質問(新型タバコとは? どこで買えるのか? など)が出ても, 明確な答えがでず, 次の集合まで調べてくるという宿題付きの部会でした。

しかし, 会を重ねるうちに, 害を伝えて禁煙を促すよりも, 「寄り添って禁煙したい気持ちを育む」ことをお伝えしたいとなり, このセミナーを開催することになりました。

第1部 タバコの真実

(さいとう歯科 齋藤健さん)

〈目的〉「加熱式タバコの情報を整理し, 今後の禁煙支援の助けとしよう」

〈講演内容〉

- ① タバコの種類 (江戸時代のキセルから最新のタバコ事情まで)
- ② 日本における喫煙の状況
- ③ 紙巻タバコ, 加熱式タバコから出る有害物
- ④ タバコ会社の戦略
- ⑤ ハーム・リダクション
- ⑥ 最後にまとめとして, 田淵先生の本の紹介と「喫煙者自身が1番の被害者」

第2部 ステージ変容モデルを利用した禁煙支援 (後藤歯科医院 後藤光成さん)
〈目的〉参加者が「禁煙支援, なんだかできそう, 明日やってみよう」と思える基礎知識を得てもらい, ちょっとの勇気が出てくれればという思いを込めた講演。

〈講演内容〉

- ① 「禁煙支援」とは, 喫煙の害, 禁煙のメリットを伝えるだけでなく, 禁煙についての具体的な方法を示し, 患者さんに寄り添った様々な方法でサポートすること. TBIに似ているので, 歯科医院に向いている。
- ② 禁煙支援は, 「ニコチン依存症」(心理的, 身体的)の治療であり, 気合いだけで乗り切るのは大変なので, 楽な方

法でいけるよう支援するのも目的。

禁煙方法として,

- ・気合, 根性
- ・医科での禁煙外来の治療 (ニコチンパッチや服薬, 現在チャンピックス® 出荷保留)
- ・歯科医療従事者がやり方をアドバイスして患者自身施行 (ニコチンパッチやニコチンガム) など

③ 行動変容ステージモデルの解説 (患者さんの心理と変化を探る)

1 無関心期 2 関心期 3 準備期 4 実行期 5 維持期

このように行動変容のステージ分けを行い, 理解し, タイミングを考慮, 今回は, アプローチを変える具体的な言葉かけの例を数多く挙げ, さらに先駆的な医院の方々の言葉と工夫 (禁煙おめでどうの形にする禁煙の木など) を話してくれた。



第3部 実際どうなの？現場での禁煙支援（歯科衛生士 奥山洋実さん、伊平泰子さん）

あすなろ歯科経験8年の伊平さんの進んで、質問（チャットでアップされたものにも対応）に答える歯科衛生士歴35年の奥山さんとのライブ対談。

臨床現場での様々な状況下で、奥山さ

んが患者さんに対して、どのような声かけをして、2部で説明された行動変容に結びつけているのか、論理的にどの様にアプローチしているのか、など答えてくれました。また、喫煙患者さんやその家族に、禁煙の関心を持たせつつ、否定せず、押し付けない言葉かけは、真剣に禁煙支援に向き合ってきた経験から出る言葉で

した。そして、伊平さんや参加者に引き出しを多くもち、タイミングに応じて小出しに伝えていくことを教示。禁煙支援のみならず、防煙支援も、ヘルスケアの診療所勤務の歯科衛生士だからできることを確認できた時間でした。

ヘルスケアの禁煙支援の本ができればいいなあ。が、部会の思いとなりました（安田直美・松戸市開業）



学校歯科部会主催 学校歯科への取り組み

2022年2月8日 オンラインサロン

学校歯科への取り組み ブラッシング指導&学校歯科における口腔内写真撮影の導入

司会：山田美穂さん、古市貴暢さん
講演：府川美佐子さん（歯科衛生士・鈴木歯科医院）

学校歯科部会は、月1回集合。第1回目、部会員がどのように学校歯科の活動をしているか、または学校歯科保健にどのようなに関わっていききたいか、意向を出し合い、回を重ねるごとに、ヘルスケア歯科学会としての学校歯科保健活動の方向づけができれば良いのでは？と、まとめ、8月の会で、鈴木歯科医院の歯科衛生士、府川美佐子さんの活動の講話を拝聴しました。その素晴らしさに、会員の皆様と共有したいとなり、サロンにゲストスピーカーとして、強引に参加していただき、講話していただきました。

府川さんは5年前まで、鈴木歯科医院に常勤として勤務。診療所以外でも、日本歯科衛生士会はじめ、さまざまな歯科に関する活動をされており、今回は、ほんの一部ですが、発表依頼。

- ① 媒体を使ったブラッシング指導の流れ
院長鈴木正臣（84歳）さんご出身の小学校で、校医として40年経た位からブラッシング指導を施行。歯科医院の歯科衛生士が5名になった1994年から、講和を交えての指導を14年間実施。各学年に1名の担当歯科衛生士を配置し、養護教諭などの打ち合わせと、時間遅延しないように歯磨き指導計画表を綿密に作成。連携の大変さと大切さを知りました。府川さん作の発泡スチロールのいろいろな拡大歯牙模型は、サロン中に購入したいと声上がるほど、素敵な媒体でした。
- ② 学校歯科保健における口腔内写真撮影の導入

上記小学校での導入は2003年から。当時の学校歯科保健の方針は、むし歯の早期治療、治療率をあげることに重点をおく傾向。結果、再治療の繰り返し。むし歯を繰り返す家庭では、むし歯に対する意識が低く、予防に消極的。この実情を改善する目的で、口腔内写真を通じ、児童が歯科予防の意識化を図り、より口中に関心を持つことを期待。児童に渡す口腔内写真は、ズレやピンボケがないよう、その場でPCに入れチェック。1人ひとりに歯科衛生士さんたちの思いを込めたコメント、歯科医師のコメントを記載。その内容も素晴らしく、感動のものでした。

最後に、府川さんの診療所以外での歯科衛生士としてのやりがいにつながったこと（地域の小学校へ歯科衛生士会の事業として1993年から11年間出勤。保育園・幼稚園・障害者施設など親子ブラッシング指導。地域の歯科医師会との共催活動など）を聞くことができました。

このサロンには、府川さんに会いたい方が、たくさん参加。山田さんの計らいで、サロンならではの挨拶ができ、府川さんも参加者も幸せ顔でした。

府川さんの臨床は、ヘルスケア歯科衛生士の理想の姿の1つと実感できた講話でした。今回は（有）サンフォート鈴木昇一さんも参加していただき、ヘルスケアに対する思いも聞け、学校歯科部会も、さらに発展していきたいと思えます。

（安田直美・松戸市開業）





歯科衛生士による歯科衛生士のための ヘルスケア歯科衛生士新人初期研修

2022年5月～6月 11:15～12:00(45分) Zoom ミーティング

対象：卒後間もない（新卒～数年以内）歯科衛生士

- 目的：1. 社会人としての基本的な心構えを学ぶ（新人初期研修）
2. ヘルスケア歯科衛生士のロールモデルを知る
3. ヘルスケア歯科診療に必要な知識・技術のステップアップについて知る

開催時間と開催時期：2022年5月～6月に合計3回

各回 11:15～12:00* までの45分間（毎回学習内容の確認＝自己採点をします）

*診療所責任者は、開催時間前後に余裕をもって新人研修の時間を確保してください

開催方法と参加費：オンライン（Zoom meeting）LIVE（アーカイブ配信はありません）

各45分3回 6,000円／1人

【カリキュラム】

第1回 新人初期研修（社会人としての心構えとロジカルシンキング）

講師：落合真理子

社会人として、とくに医療人として責任ある行動・言動が求められるようになります。挨拶をすること、人にフレンドリーに暖かく接することはもちろんですが、さらに自分で考えること、自分の考えを話すことは、社会人としての必須のスキルです。そこで論理的思考法の入口に立つことを目標に簡単なワークをします。一般に企業研修などでは、ロジカルシンキングを身に着けるための研修に1～3日を費やしますが、本講座ではその入口に立つことを目標にします。

第2回 ヘルスケア歯科衛生士を知る

聞き手：落合真理子

語り手：田村 恵、奥山洋実、山田美穂、松下奈緒

数人の歯科衛生士に「私の歯科衛生士としての歩み」を語っていただきます。長く一つの診療所に勤め、多くの長期症例から学んでいる田村恵さんほか様々なロールモデルを知って、ライフステージの変化と歯科衛生士の両立、歯科衛生士としての喜び、やり甲斐、壁にぶつかったときの克服の経験に触れていただきます。

第3回 必要な知識・技術のステップアップ

講師：山田美穂、落合真理子

歯科衛生士学校で一通りの勉強はしました。一般の歯科診療所では、それ以上のことが求められます。しかしほんとうに患者さんのためになることができているのでしょうか？ 医療面接、プロービング検査、口腔内写真撮影、カリエスリスクの診査と評価、キュレットのシャープニング、エックス線フィルムのセッティング、エックス線の読影、ディプラーキング、PMTC、そしてスケーリング・ルートプレーニング。そのいくつかをとりあげて、患者さんのためになるスキル、不快にしないスキル、自分のからだに無理をかけないスキルをどのように学んでいくか、そのステップアップの道筋を学びます。

☆研修修了者には、初期研修修了証（サーティフィケート）を発行します。



認定歯科衛生士 更新ポイントについて お知らせ

2021年も新型コロナウイルス感染症予防対策として、リアルでのセミナーが開催できない状況にありました。昨年より引き続き、認定歯科衛生士の更新に関しまして、2020年を含む場合は「5年で70ポイント」から「5年で50ポイント」となっております。

今年度もHCM2021の参加に加え、有料のオンラインセミナーへの参加でポイントが加算されます。オンラインセミナー（有料）の受講1回につき「5ポイント」です。

このニュースレターに「認定衛生士資格更新ポイント申告書 2021年」を同封いたしました。対象の方は3月末までにご提出ください。

高齢者のヘルスケア診療

2022年10月9・10日(日・月祝) 9日13:30～10日9:30～

建築会館ホール(東京・田町) & オンライン (Zoom ウェビナー)

ここでは、ほぼ85歳より上の人を頭に描いて“高齢者”と呼んでいます。そう耳にした途端、「訪問やってないから」と腰が引けてしまいませんか? 「だれもかれも訪問する必要はないでしょう、むしろ地域の他職種にどう繋ぐかが大事ですよ」足立融さんのこんなアドバイスからこの企画が始まりました。85歳以上のヘルスケア診療って、どんなものなのでしょう? どんな困難があり、どんな課題があるのでしょうか。

永く定期管理を続けて85歳になった方が来院されたときに、口の中にしか関心をもたない人がいるのでしょうか? 「人を診る」なんて、大袈裟なことを言わなくても、患者さんその人のことが気になってしまうはずですよ。高齢になると、誰でもどこかに不具合が出ま

す。重い病気をしたり、伴侶を失ったり、親を看取ったり、要介護になったり、高齢者はいくつも幾つも、そういう経験をしています。

そのため、一人ひとりの高齢者の口腔保健の目的や条件は様々に変化します。そもそもヘルスケア診療では、「歯を残すためだけに、ずっと診てきたわけじゃない」のです。そしてどこかで、地域の他職種にどう「繋ぐ」かも考えなければなりません。

ヘルスケア歯科診療所の高齢者診療の実態は、どうでしょう? この企画を通してヘルスケア歯科診療ならではの高齢者ヘルスケアの基本的な認識をつくりたいと思います。それはきっとヘルスケア歯科診療の幅を広げることにもなるでしょう。

9日13:30～16:00 サブテーマ1: コロナ禍から得たもの

10日9:30～14:20 メインテーマ: 高齢者のヘルスケア診療

企画趣旨	高橋 啓(南宇和郡開業)	
基調講演1	「何でもよく噛んで、おいしく食事ができていますか」と尋ねたことがありますか? — —歯科にどうしても知ってほしいフレイルの意義—	荒井秀典(国立長寿医療研究センター 理事長)
調査報告	ヘルスケア診療所における高齢者歯科診療の実態	千草隆治(北九州市開業)
基調講演2	ヘルスケア診療所だからできるフレイル予防 —高齢者のメンテナンスって何のため?—	足立 融(米子市開業)
総括	ヘルスケア診療における高齢者への対応	高橋 啓
ディスカッション	司会: 秋元秀俊	

10日14:30～16:00 サブテーマ2: CRASP

ヘルスケアミーティング 2022 ポスター発表 募集!

カテゴリー1 ヘルスケアにおける高齢者歯科臨床(診療室でも、訪問でも)

2022年のヘルスケアミーティングでは、「高齢者」をテーマに取り上げます。単なる訪問診療の話ではなく、ヘルスケア診療の延長線上にある高齢者診療にスポットを当てたいと思います。皆さんの診療室において、高齢者の方に対して、どんな工夫をされていますか? 今回のポスターセッションでは、色んなヘルスケア診療室の高齢者に対する工夫や対応だったり、症例を共有したいと考えています。こういった発表にエントリーして一つの目標に向かって、医院で取り組んでみましょう。自院で高齢者対応を見直すいい機会にもなるかと思えます。

カテゴリー2 ヘルスケア診療のことなら何でも

ヘルスケア診療に関することなら、何でも発表して大丈夫です。現在の医院の取り組みなどまとめることで整理される部分があるかと思えます。ぜひ、発表がてらまとめてみましょう。自分達のためになりますよ。

カテゴリー3 ヘルスケア診療の症例発表

ヘルスケア診療室の日常診療をポスターにまとめてみませんか。これも陣達のためになるかと思えます。日常臨床の中でも、皆の参考になるようなケースを発表してください。ぜひ、よろしく願います。

演題について: 発表申請方法と締切

ポスター発表を予定する方は、件名を「HCM2022 ポスター発表」として事務局(center@healthcare.gr.jp)宛に、①演題と②発表者名をメールでご連絡ください。

筆頭発表者は会員に限ります。筆頭発表者名で申込みください。

申込み締切: 2022年7月10日

抄録について

8月31日までに発表内容の演題(ポスタータイトル)、発表者名(所属)、ポスター抄録(文字数400～600字)を事務局までお送りください。

その他

ポスター発表は、2日目の決まった時間に1名がポスター前に立ち、質疑応答の交流時間を設けます。

ポスターサイズについて

750×1050mm(発表者名、タイトルを含む)

縦サイズは400mm延長可能(ただし、延長部分にはパネルの裏打ちはありません)

発泡スチロールのパネルを用意しますので、セロハンテープなどで貼ってください。特殊なサイズです。ご注意ください。

※発表用ポスターの紙以外の配布物などは原則として認めませんが、ポスターにポリ袋などを貼り付けることは許容します。